

第34回日本木管コンクール

(クラリネット部門)

会場: 東条文化会館コスミックホール

発行日 2023年11月4日(土)

(第2号)

ほっとねっと

発行: 日本木管コンクール委員会

〒673-1311

兵庫県加東市天神66

TEL 0795-47-1500



二次予選出場者 13名が決定!



今回も、参加者がハイレベル者ぞろい。審査員の方々の慎重な審議の結果、第2次予選出場者13名の方が選出されました。

二次予選出場者 (エントリーナンバー)

2	7	11	25
27	30	58	89
92	93	112	120
121			

以上の方です。

【二次予選 課題曲】

Wolfgang Amadeus Mozart : Klarinettenkonzert

～今年の活動報告2～

こどもオペラ 魔法の笛 2023.8.20

夏休み恒例となった今年のこどもオペラは『魔法の笛』。

モーツァルトの楽曲と、子どもたちに親しみのある手遊び歌などの組み合わせで、会場は楽しさいっぱいに盛り上がりました。子どもを連れてきた若いパパとママが目立ち、コスミックホールの明るい未来を予感し嬉しくなりました。

アンケートには、「大人も子どもも楽しめる内容で感動した。生の楽器や歌の迫力があって、また見たいし、音楽に触れなくなった」「昨年に引き続き参加。子どもも大人も一緒になって楽しめた」「大人もたくさん入ってほしい」等の声。

今年は美しいフルートの音色がメインで、打楽器タンブリン・マリンバ・ドラムの格好良さが加わりました。さて、お次はどんなお話かな?どんな楽器かな? 早くも来年の夏休みが楽しみです。



楽器点検コーナーをたずねて



今回、(株)ビュッフェ・クラボン・ジャパンから沼館さんが来られています。東条に来られるのは初めてですが、この仕事は20年来のベテラン。点検コーナーが、多くのボランティアスタッフが演奏者を出迎える場所にあったので、全国多くのコンクールがあるなかで、色々だなあと驚かれたようです。

学園生のインタビューに、普段はフランスから送られた楽器の検品や全国から楽器の修理も手がけているとのこと。クラリネットは素材が天然の木なので湿気や温度の影響で金具とのガタつきを調整するのが難しいところだと答えて下さいました。

点検中を尋ねると、今回は大きな事はないが微妙な調整があるとの事。演奏者は、普段から点検はしているが常にベストな状態で臨みたいので、この場で調整して貰った後の安心感があり、とても有り難いとの声でした。コンクールに向けて使い過ぎるからと言われていました。残る二日間もよろしくお願い致します。



ボランティアスタッフにきいた

清々しい姿の22名の中学生ボランティアの参加で、各部署は活気を帯びた。

ホワイエ受付係、事務所前受付係、接待係、広報係で緊張しながら、しっかり仕事に挑んでいる姿は頼もしい。コンクールの出演者との笑顔のやりとりがとて新鮮。若いっていいなあ!! これからも続いて是非...



～今年の活動報告1～

コスミックジャンボ紙ずもう大会 2023.8.6

「夏休みの子ども達に楽しい催しを」と企画したイベントの一つ。

「ジャンボ紙ずもうってどの位の大きさ?」大人の人数の大きさなのです。それをダンボールで作って、にわか仕立ての土俵を「どん!どん!どん!」とたたいて勝負を決めるのです。

午前中は5～6人で組んだ仲間と力士を作り、午後は「いざ!すもうの取組みへ」と、一日がかりのイベントでした。製作の場面では、アイデアたっぷりの力士名に似合ったジャンボ力士が出来上がりました。

いよいよのすもう取組みでは、本物さながらのたぐみな演出と装束の「呼び出し」「行司」が登場し、会場は大いに盛り上がり、臨場感あふれるイベントとなりました。子どもも大人も楽しく素晴らしい体験をしました。

東条地区内のお店から協賛していただいた商品、「コロッケ」「ピザ」「バームクーヘン」、コスミックホールからの参加賞、みんな大喜びでした。ちなみに、優勝は、「小夏丸」と「パンダ山」(熱戦だったんです)、3位は「しげもん」でした。



～ 出場者の方々の感想 ～

- 初めての挑戦です。トップバッターで緊張しましたが、アットホームな雰囲気とても心地よく演奏できました。
- ホールの響きがよくて、とても気持ちよく演奏できました。何よりもスタッフの皆様がとても温かく接して下さって心が和みました。
- 初めてのなのですが、北海道から飛行機で来ました。友だちから良く響くホールだと聞いていたので、いつもより余裕を持ちながらゆったりと演奏できました。
- 2回目なのですが、緊張して100%難しかったです。ホールは響きやすいので、何か守られているような感じで演奏できました。ほぼ毎日3、4時間練習しています。
- 今回は悔いは残るけど、自分のできる全力は出せたと思います。ホールは響きすぎることもあるのですが、演奏している方は演奏しやすいんです。
- このコンクールは、ボランティアスタッフの方たちが励まして下さったり、応援して下さいますので、ほっこりします。高校生の時にプロの演奏者になろうと決意して頑張っています。
- あちこちのコンクールに出ますけど、こんなに温かいコンクールは他にありません。素晴らしいです。
- このコンクールはいい演奏者がそろっているの、勉強の意味も込めて受けました。

～ ボランティアさんの感想 ～

- 【受付係から】
 - 出演者の方が最初から戸惑ったり苛立ったり不安がないよう、気持ちよくコンクールに挑んでいただけるように工夫した結果、手順良くスムーズに受付が出来ました。
- 【誘導係から】
 - 5分の限られた演奏時間と20分の限られた練習時間の両方の誘導をしていかねばならないので、気のゆるみのない大切で大変な場所だと思います。
- 【接待係から】
 - 審査員の先生の中に本コンクールを何年前に入選された方が、「その時のスタッフの皆さんに良くしていただいたので、今日お会いしても何のわだかまりもなくお話ができます。ボランティアの皆さんで運営されていること、本当に素晴らしいです」と言われ、いろいろなお話をしました。本コンクールの歴史を感じましたね。



加東市東条文化会館
コスミックホール

ホームページ
<http://cosmic-hall.org/>



第34回日本木管コンクール
(クラリネット部門)
会場:東条文化会館コスミックホール
発行日 2023年11月4日(土)
(第2号)

ほっとねっと

発行:日本木管コンクール委員会
〒673-1311
兵庫県加東市天神66
Tel 0795-47-1500



※委員名は五十音順です

審査員の先生による〈一次予選〉講評

山本 正治

東京藝術大学名誉教授 武蔵野音楽大学特任教授

〈審査委員長〉

今回の予選は選択曲が6曲あり、選択された曲もある程度分散されていたので、同じ曲を聴いているより負担が少なく感じました。それぞれの曲のキャラクターが違います。特にコヴァーチは4人の作曲家のオマージュになっていて、その作曲家の特徴を出せるかが大事です。例えばR. Straussのオマージュを練習する為にR. Straussの作品を研究することが大事です。曲を練習する時、その作曲家の代表となる様な曲をまず聴いて、また勉強してから練習を始めるのが大事です。楽器を練習するのでなく、音楽を探る練習をする様にしてください。それはロングトーンの練習、また音階の練習する時も、音楽が頭に浮かんでから練習すると何が違って来るかもしれません。楽器を練習する時、頭に浮かぶ物がクラシック音楽をもともと聴いている国の人と違うかもしれません。



磯部 周平

元NHK交響楽団 首席クラリネット奏者 東邦音楽大学特任教授
尚美ミュージックカレッジディプロマ科チーフプロフェッサー

〈運営委員長〉

音の美しさ、技術の確かさは確実に進歩しているのを感じます。一次の課題は無伴奏作品という事もあり楽譜とクラリネットと対峙しながら深く読み込んで行く作業が大切です。その上で(音が並ぶか並ばないかよりもっと先に...)作品の本質的な魅力を追求める事が大事。例えばベートーヴェンの強弱記号やメトロノームの数字が絶対な物では無いのと同じように、ストラヴィンスキー や、ドニゼッティやコヴァーチ作品も音楽が先にあり楽譜が後から書かれた事を考えてみてください。コヴァーチの作品は各作曲家へのオマージュとして作曲されていますがそこに記された強弱記号やメトロノームの数字は当然コヴァーチ氏の意味で書かれた物です。逆にそれはオリジナルであるストラヴィンスキー の場合も同じ事で(・・とても難しいかも知れませんが)、その数字や強弱記号は大切な『鍵』『ヒント』ではあります『絶対』ではありません。その数字よりも大事な物を楽譜の向こうに探し求めたい。ドニゼッティは(シューベルトと同世代浪漫派の幕開けの)数々のオペラ、ストラヴィンスキー は三大バレエ曲や兵士の物語、バッハはヴァイオリン、チェロの無伴奏作品、リヒャルトシュトラウスの多くの交響詩やオペラ等々を演奏する前に体験し心に染み込ませたい。背景の見える音楽的豊かさが演奏をより魅力的にするでしょう。モーツァルト協奏曲の『Allegro』は一生涯かかっても見つからないかも知れませんが、より美しく、より真実を追い求める努力が演奏をより魅力的にしていくでしょう。



伊藤 圭

NHK交響楽団 首席クラリネット奏者

私が感じるクラリネットの一番の魅力は、色彩豊かな「音色」にあります。音色は演奏者の個性や感情を反映させるためだけでなく、作曲者のメッセージや曲の内容を伝える為の大切な要素です。今回の課題の目的として、技術や速さだけにフォーカスされた演奏が多かったように思います。音色という芸術的な要素を決して忘れる事なく、音の発音や保ち方、処理の仕方など、一音一音を丁寧に考え、旋律の表情に合った音色を追求して欲しいと思います。



小谷口 直子

京都市交響楽団 首席クラリネット奏者

一次予選の結果が出ましたが、二次へ通過できた人に限らず、素晴らしい演奏の数々がたくさん心に残りました。自分に克つことも、他人に勝つことも、コンクールでは必要でしょうが、本当の面白さは、自分なりに音楽経験を積むうちに、だんだん楽曲や作曲家について相応しいスタイルを自分の中に鮮やかにイメージ出来るようになり、憧れや敬意をもってそれを音にしようと夢中になることにある気がします。その奥深さをもう味わい始めている人と、そうでない人の違いは、聴こえたように思いました。本コンクールを支えてくださる東条町(現加東市)の皆さんのご尽力と温かいお気持ちに、毎日感謝で胸がいっぱいになります。ありがとうございます。



十亀 正司

武蔵野音楽大学非常勤講師 (株) 亀の子音楽工房代表取締役

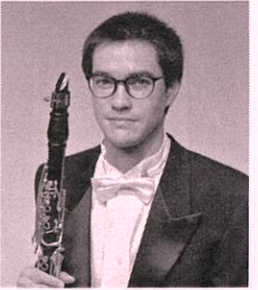
今回久しぶりの審査員として、木管コンクールの印象を少しお話しします。まずは全体のレベルについてですが、以前のコンクールの時に比べると断然レベルは上がっていると感じました。審査をして、次のステップに進む人を選ぶのがとても難しかったです。特にテクニックにおいては、ほぼすべての課題曲に対して間違える人の少なさには驚きました。以前では考えられないことです。吹けてしまうのは当たり前になってきてしまった今、ではその先はどうしていったらいいのか、そのレベルで音楽のことを考え、それを表現していく術は何なのかを、皆さんに考えてほしいと思います。音がただ並んだ音楽を、いかに生き生きとしたメロディーにしていくのかを。



ブルックス 信雄 トーン

愛知県立芸術大学 准教授

このコンクールで、才能溢れる学生の演奏を聴ける事を、いつも光栄に思っています。毎年、日本のクラリネットの演奏のレベルが上がっていることを強く感じています。同じ出場者でも、録音された音と、ホールで生演奏を聴くのとでは、どれほど印象が違うか、とても興味深かったです。録音では、精度と正確さが、とても目立ちますが、大きなホールで演奏する際は、集中力と調和した音が絶対に必要です。将来、このコンクールに参加された全てのアーティストの皆さんの成長を見られる事を楽しみにしています！



三界 秀実

東京藝術大学 准教授

演奏家にとって一番難しいことは、自らの演奏を客観的に判断することだと思っています。自分のステージを客席で聴くことができれば良いのですが、残念ながらそれは不可能です。できることは様々な情報を材料にして推測することだけです。録音、録画、信頼のおける人からの意見、そして何よりも演奏しながら自分の耳で聴き取ることでできる直接音&反射音。少しでも多くの情報を参考にしてください。そして音楽的な感覚を磨くためにも、少しでも多くの音楽、他の人たちの演奏を聴くようにしてください。コンクールは個人でのステージになりますが、その分独りよがりの音楽になりやすい面もあります。演奏家としての個性は大切ですが、是非客観性も保てるようにしてください。



～加東市ふるさと納税

(ふるさと応援活動支援金)のご協力をお願いいたします～

特定の団体(支援希望団体)に対する寄付の受付を開始しています。
QRコードをスマホ等で読み取っていただく加東市ふるさと応援活動支援交付金交付制度のページにつながります。申請用紙については、ホームページからダウンロードできます。
特定の団体(支援希望団体)については、「特定非営利活動法人「新しい風かとう」」
をお願いします。詳しくはホームページをご覧ください。また、団体名をクリックしますと「特定非営利活動法人「新しい風かとう」」のホームページをご覧ください。
～加東市ふるさと納税(ふるさと応援活動支援金)のご協力をお願いいたします～



～日本木管コンクール開催における 協賛金・ご寄附に ご協力をお願いいたします～

日本木管コンクールは、地元の企業や楽器メーカー各位をはじめ、コンクールを応援して下さる個人の皆様の温かいご寄附とご協賛支援に支えられて取り組んでまいりました。「この素晴らしいコンクールと文化の灯を消してはならない」との思いと、若手音楽家の登竜門として、また日本の音楽文化の発展に寄与した功績をご理解いただき、今後もコンクールを継続するためにもご協力を仰ぎたいと考えております。どうぞ、皆様の温かいご支援を宜しくお願いいたします。詳しくは「特定非営利活動法人「新しい風かとう」」又はQRコードをスマホ等で読み取ってご覧ください。



加東市東条文化会館
コスミックホール



ホームページ
<http://cosmic-hall.org/>

